

平成22年2月10日

各 位

上場会社名 日東工器
 代表者 代表取締役社長 小武 尚之
 (コード番号 6151)
 問合せ先責任者 経営企画室長 本田 毅
 (TEL 03-3755-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,370	490	560	230	10.82
今回発表予想(B)	19,000	700	830	400	18.82
増減額(B-A)	630	210	270	170	
増減率(%)	3.4	42.8	48.2	73.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	24,220	3,013	3,111	1,722	79.76

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,600	250	520	330	15.53
今回発表予想(B)	16,200	200	500	350	16.47
増減額(B-A)	△400	△50	△20	20	
増減率(%)	△2.4	△20.0	△3.8	6.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	21,524	1,937	2,331	1,371	63.48

修正の理由

平成22年3月期の第3四半期における経済環境は、新興国や一部業種に回復の動きがあり、景気悪化に歯止めの兆しが見られるものの、企業の設備投資や雇用情勢などは回復軌道に乗るまでにまだ時間を要すると思われま。また、円高懸念も大きなリスクとなっていることなどから、当社を取り巻く事業環境は厳しい状況が続くと予想しております。

このような景況下で、当社は経費削減などによるコストダウンを継続的に進め、利益確保に努めて参りました。主力の迅速流体継手事業が半導体業界向けなど第3四半期に底打ちの兆しが見られたことにより、第3四半期累計の業績は当初の想定を上回る結果となりました。

第4四半期については、第3四半期と同様の事業環境を予想しておりますが、経費負担を高く見込んでおります。このことから、通期では平成21年8月6日に発表した業績予想数値を上回る見込みですが、第4四半期の業績については、第3四半期と比較して若干の下振れを予想しております。

以上の理由から、平成21年8月6日に発表した業績予想数値を修正いたします。

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上